



2017年11月

第269号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 小口 多津子  
副会長 並木 信一  
書記 茂木 稔・山本 英次  
会計 長谷川 あや子  
幹事会長 辻 久子  
担当主事 中里 敦  
プリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 清・多河 敏子  
直前会長 中塚 辰生

国際会長 Henry Grindheim (ノルウェー) 主題 “Let us walk in the Light together” 「ともに、光の中を歩もう」  
スローガン “Friendship across the borders” 「国境なき友情」  
アジア地域会長 Tung Ming Hsian (台湾) 主題 「ワイズ運動を尊重しよう」  
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」  
東日本区理事主題 栗本 治郎 (熱海) : 「広げよう ワイズの仲間」  
「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」  
あずさ部部長主題 大野貞次 (東京西) 「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」  
クラブ会長主題 小口多津子 (八王子) 「無理なく、地に根を張って」

### 2017年11月例会プログラム

(担当 : A班 長谷川、小口、中里、仲田、中塚、古市)

日時 : 11月11日 (土) 18:00~20:00

場所 : 八王子市北野事務所 2階大会議室

受付 : 中里、中塚

司会 : 長谷川

開会点鐘

ワイズソング

ワイズの信条

ゲスト・ビジターの紹介

聖書朗読・食前感謝

会食

卓話「災害時に新聞が役立つ！トイレ対策」加藤祐一氏

東京 YMCA 報告

報告・連絡事項

スマイル

ハッピーバースディ

閉会点鐘

小口会長

一同

一同

小口会長

長谷川

中里担当主事

会長・担当

中塚

小口会長

小口会長



### 巻頭言

#### 東京八王子クラブにて

挨拶とお願い あずさ部部長 大野貞次

久しぶりに伺うことができました感謝です、

あずさ部11クラブの公式訪問をしてまいりましたが、こちらに伺うのが最後になりました。早く伺うこともできたのですが、中央大学YMCAとの合同例会に合わせてとの依頼があり最後の訪問となりました。この合同例会が長く続いていることに感銘を受けています。

私の今年度の主題は「継続は力なり・そして一歩前に・そしてあがこう」として各クラブを訪問いたしました。まさにこの合同例会が継続されていることは八王子クラブの力となっていることを実感いたしました。

あずさ部の11クラブはそれぞれの地域でそれぞれ特徴をもった活動を継続して行なわれています、そしてよき繋がりとなりワイズ活動が実を結んでいるのだと思います。

先月の例会ポイント (9月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	41.5g
メン	13名	累計	873.5g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	76%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	16,256円
ゲスト	1名	累計	30,843円
ビジター	11名		
ひつじぐも	6名	オークション	0円
		累計	0円

聖句

「悪を避け、善を行い／平和を尋ね求め、追い求めよ。」

(詩編34編15節)

私は公式訪問でお願いしていることはあります

1. クラブの会員増強を年度内に(2名)を目標にしていきたい。すでに入会の報告をいただいておりますクラブがあります。甲府21クラブ(1名)・多摩武蔵野クラブ(2名)東京西クラブ(1名)の入会式に立ち合わせていただきました、ぜひ八王子クラブにおいても入会される方が出ることを期待しています。
2. そして1歩前には新たに地域奉仕を考えていただきたいことです。そのことによって、そのことに賛同して下さる方が生まれ会員増強につながるのではと考えています。
3. そしてあがこう、の意味は会員増強が簡単にできることではないと思いますのでみなさまで何とか協力し合って行っていただきたいと思ひます。

ワイズ活動が苦しいものになってはならないと思ひます。

栗本理事も楽しくなければワイズではないと言われていひます。互いにクラブの例会に参加して交流を図りクラブライフを楽しく過ごしたいと思ひます。

あずさ部は今年度176名でスタートしました。現在4名の増です。年度が終わるときには190名を超えるようになればとも考えていひます。(夢かな?)

常に「キープオンゴーイング(前に進み続けよう)」そんな思ひをいたしておひます。東京八王子クラブの皆様そして中央大学YMCA皆様の健康とますますの発展をお祈りしていひます。3月のチャーリーティーコンサートにはぜひ伺いたいと思ひていひます。互いにこの1年(あと8か月)頑張りましょ。



### (他クラブ訪問)

#### 第15回富士山例会 久保田貞視

9月30日(土)・10月1日(日)の富士山例会は富士五湖クラブと東京サンライズクラブ合同で恒例の富士山5合目佐藤小屋で開催されました。参加者は55名と多数参加し、そのうち、石巻広域クラブから10名、京都プリンス、京都洛中クラブ(富士五湖クラブとDBC 締結予定)と遠方からの多数の参加があり、会を盛り上げました。例会は、佐藤小屋の大広間で開会点鐘の後、富士五湖・東京サンライズ両クラブの会長(両クラブとも副会長)挨拶、ゲスト紹介の後、部長公式訪問のため、大野

あずさ部部長よりの挨拶、ニコニコは北九州豪雨の被害者支援募金として集めました。会長不在のため望月副会長の報告では今年の富士山登山は外国人と日本人の比率が6対4と逆転、多くの外国人が登山したとのこと。そのためか最近クリーンになっていた登山道周辺にごみの山ができ、清掃に苦労された由です。

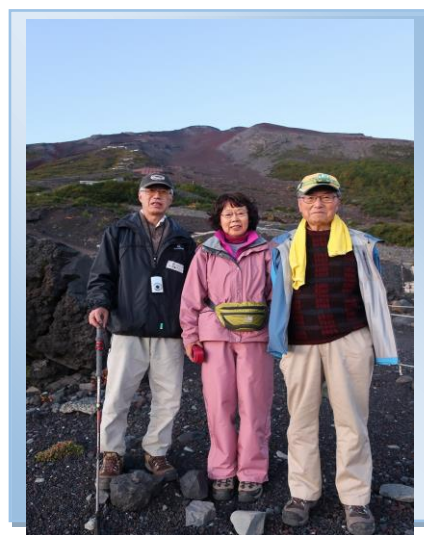
卓話秘境巡りを得意とする旅行添乗員であり、ガイドの鈴木みどりさんが自分のキャリアと外国旅行での添乗員・ガイドの苦労話を話されました。

懇親会は相変わらず、富士五湖クラブの準備万端よろしく、ガーデンパーティのBBQで肉・野菜・ホタテ・トウモロコシ、焼きそば、山梨うどんなど沢山の料理に、アルコール類は一升瓶の甲府ワイン(紅白)、6本の一升瓶の日本酒、ビール、ソフトドリンク等用意され、参加者は一年振りの懇親会で夜が更けるのを忘れ、美しい夜空の下、懇談に耽りました。外部者は入れない原則ですが、遅くなり、宿泊した若い外国人(スイス、ベルギー、ドイツ、スウェーデン、メキシコの留学生)が参加し、参加者との間で英語、スペイン語が飛び交いました。

例会に先立ち、馬返しからの五合目佐藤小屋までの登山者は昨年12名の参加者が、今回は当クラブの長谷川さん、高尾山組の岡垣さん(東京 YMCA 会員)、久保田の3人ののみで小池さんとガイドの野崎さんが一緒に登ってくれました。驚いたのは昨年までは、登山口の馬返しは登山客少なく閑散としていひましたが、今年は数組のグループ登山者など大勢おり、江戸時代からの富士講の吉田口登山道が市のPRもあり人気が出たようです。

翌日は早朝、富士山6号目に登り、素晴らしいご来光を仰ぎ、下山して朝食、その後、西湖の「いやしの里」を散策し、「いづみの湯」の温泉に浴し、昼食を取り解散しました。

毎回、豪勢なBBQを準備され、相当な労力を使われている佐藤小屋のご夫妻と富士五湖クラブの皆様にご感謝いたします。



## 中央大学 ひ つ じ ぐ も 活 動 報 告

### タイ・チェンマイのAYCに参加して

中大3年 渡邊 敦

今年の7月にタイのチェンマイで開催されたAYCに参加してきました。高校生の時に家族で行った韓国に続き二度目の海外渡航となります。英語ができず不安を抱えたまま現地へと足を運びましたがふたを開けてみればただただ楽しい毎日でした。

最初に参加したユース同士の緊張をほぐすためにアイスブレイキングが行われましたが、まさにアイスがブレイクされた感じがしました。日本人同士のアイスブレイキングでもなかなかうまくいかせるのは難しいですが、今回は初めて会う外国人との心の壁が一気に取り払われたような気がしたため感動しました。

AYCのメインとなるセッションにおいて、私は「1つのセッション内で必ず1回は発言する」という目標を掲げました。海外の会議においては1回も発言しないのでは次回からは来ないでいいと言われてしまうという話を大学の講義で聞き、それを踏まえた目標です。英語下手な私にとってはそれなりに高いハードルを設定したつもりですが、案外達成できました。それには西日本ユース達の影響が少なからずあったように思えます。西日本ユースは4人組の女の子集団。そのうち3人は高校生というフレッシュな集まりです。4人のうち1人はネイティブ並みの英語力の持ち主でしたが他は英語力に難ありで特に1人の子は全く英語が話せないといっても過言ではありませんでした。しかしそんな彼女達にあったのは積極性。英語という壁を感じさせず果敢に外国人に話しかけていました。日本語混じりであったり文法的におかしかったりしても周りの海外ユース達はしっかりと耳を傾けてくれていました。そんな彼女達の存在が自分なりの英語で話しかけるという行為のハードルを下げてくれたおかげで下手糞ながらも話すことができたように思えます。

そしてなにより楽しい思えたのは素の自分でいられたことでしょうか。これまでの学生生活やYMCAでの活動において少しおちゃらけた行動をとるのが好きなのですが、AYCでもそのキャラクターを存分に発揮しカルチュラルナイトをはじめ、自分も他のユースも笑顔になれるような時間をたくさん作れたので満足です。

就活もありますし、来年のAYCなんて考えてもいなかったのですが他のユース達に誘われて正直迷うほどでした。今回のAYCの充実感から機会があれば是非行きたいと思えたのです。

こういった貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。今後もよろしくお願ひいたします。



### 東山荘夏期ゼミに参加して

中大2年 齊藤晴樹

9月8日～11日に静岡県にあるYMCA 東山荘で開催された、第45回全国学生YMCA 夏期ゼミナールに、中央大学からは10名が参加しました。夏期ゼミとは、全国各地の学生が一堂に会し、議論や交流を深めるプログラムです。今年度は、『視点を変えてシルシルミエル新世界～わたしがあなたになったら～』というテーマで、物事や人のことを、別の角度や視点から見ることによって、理解をより深めることができるのではないかと、ということで社会問題などを用いてプログラムが行われました。プログラムのディスカッションの時間では、主にジェンダーや性産業をもとにそこから派生する様々な社会問題を議題として、私たちがそれについて普段感じていることを話し合いました。ジェンダーであれば女性専用車両の是非や男らしさ・女らしさについてなど、性産業であれば、日本におけるその実態など、大小問わず社会において疑問や問題に思われていることについて意見を交換しました。私は、以前より社会問題などについて議論をしたいと思っていました。しかし、日常生活において、新聞やテレビの報道を見て、自分なりに考えたりすることがあっても、内容が重たいというせいも、なかなか普段の友達との会話の中で話題にすることもできず、しっかりと話し合うことはほとんどありませんでした。が、この夏期ゼミは、そういう重たい内容を扱っており、本気で議論することができる良い機会でした。そして、自分の意見を他者と交換することができてとても満足しています。しかし、私は、プログラムのディベートの時間で、自身の意見が全く言えなかった場面もありました。自分と同年代の人がしっかりとした考えをもって発言しているのに対し、自身の意見が言えず、ディベートから置いて行かれ、非常に悔しい思いをしました。しかし、次はこうはならないようにして、相手を論破してやりたい、納得させてやりたいという思いが、私の中で芽生えました。私は夏期ゼミを通して、自身の知識や考えの未熟さを非常に痛感し、自身に足りないものを実感しました。また、全国各地から来られた方々の意見を聞いて、様々な見方、意見を集めることができたことは、今後物事について考える際に、とても良い経験になりました。私は、この夏期ゼミで得られた経験を無駄にしないように、そして来年の夏期ゼミで、より洗練された自身の考えをぶつけることができるように、日々努力し、考えを深めていきたいと思ひます。



## 西東京センター便り

中里 敦

先日、「アジア太平洋ディスレクシア・フェスティバル2017」にボランティアとして参加してきました。ディスレクシアとは、『学習障がいの一つで知的に問題はないものの、読み書きの能力に著しい困難を持つ症状を言うそうです。全く読めないのではなく、スピード、正確さと流暢さに問題があり、音と記号である文字をつなげる能力（音韻認識）が弱いそうです。文字が二重にダブって見えたり、ひっくり返って見えたり、歪んで見えたり、一部の文字が動いて見えるのだといいます。しかし、読み書きに困難があるだけで、他の能力には問題ない人もたくさんいて、自らの個性を生かして幅広い分野で活躍している人も多くいるそうです。』（当日いただいた資料参考）当日は当事者の方とも違和感なく過ごしました。ディスレクシアのことを改めて思った時、周りができているのに自分ではできないことを伝える勇気や困難さを理解してもらうことは大変なことだろうと感じました。幸い私はYMCAという場で発達障がいを知り、自分が当たり前と思っている世界だけではないことを知ることができました。しかし、そうでなければ自分が当たり前と思っていることが出来ない人のことをどのように見ていたのでしょうか。

この原稿を書いているのは10月31日のハロウィンです。今日の西東京センターには、発達に関する支援が必要な子どもたちが仮装して来ています。とても楽しそうに、そして笑顔で『Trick or Treat』の音が元気に響いています。YMCAが楽しく、自分を表現できる居場所になっていると感じています。

イエスが弟子に対して厳しく接することがあったように、YMCAは成長の場だからこそ楽しい時だけではないかもしれません。しかし、一人の人として一人ひとりの善し悪しを認めあう者同士が交わる所だからこそ、一面だけで決めず、それぞれの良さを高めていける“よくなっていく”場所がYMCAなのではないかと感じました。

## 中大ひつじぐも便り

### 久しぶりにサークルの活動に復帰してみても

中大ひつじぐも 4年 牧野 充幸

4年生になってからほとんどサークルの活動に参加しておらず、9月になって久しぶりに顔を出してみた時に感じたことが2つあります。

それは、ひつじぐもの皆さんには若さがあるということと、本当に色々な立場の人がいるということです。まず前者の若さがあるということ。これは言い換えれば、輝きがあるということです。ひつじぐもで出会った人すべてが、何をしたらもっと楽しく、もっと良いことができるのかを常に考えているのだなと感じました。もちろんそれはサークルの活動に対してだけではなく、サークルで体験したことを楽しそうに話し、考えている姿はステキだなとしみじみ思いました。長らく生き活きた所いなかったせいとか、ひつじぐもの空気がとても新鮮で、これが若さなのだと気付きました。次に後者の色々な立場の人がいるということ。これは一言で言えば、濃いということです。サークルの活動に来る頻度や偏りがあるのもひつじぐもの魅力の1つだと思うのですが、同じような活動に参加する人同士でも、目指しているものや考え方が違うことに改めて面白さを感じました。またみんなを引っ張る人、暖かい雰囲気を作る人、目立たないけれども大切なことをコツコツこなしてくれる人、などなど、ひつじぐもには、常に、立場や性格が異なる人の魅力をよくみている雰囲気があります。そうした人の魅力に気づく良さが活動報告に現れているからこそ、誰もが楽しそうだなと思えるのだと実感しました。

10月の中大ナイトに参加させて頂いた時、たくさんのゲストの方や八王子ワイズメンズクラブの皆様にお会いしました。そこにいらっしゃった皆様もそれぞれ何かに対して楽しそうに話していらっしゃっていました。何か1つでも楽しいことやもっとこうしたいと思えることがあるのはとても大切なのだなと思います。そして、それに気づくことも大切なのかなと思います。

### お話

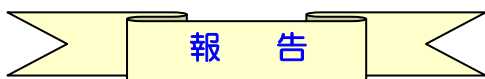
10月2日、米国ネバダ州ラスベガスで起きた銃乱射事件の時、トランプ米大統領が救助活動に従事した全市民に敬意を表し、犠牲者・被害者への見舞いと哀悼の意を述べ、市民の連帯を訴えた時にこの聖句を用いたとされていたのでご紹介しました。

大統領になった当初の紹介では、トランプさんは教会にはあまり行かないと聞いていましたが、それにしては良い聖句をご存知なのにびっくりしました。

ところが、最近のニュースでは戦死した無名の兵士へ心遣いに欠けていたことが嘆かれていました。政治的発言はどこまで信用していいのか微妙ですが、神様はすべてをご存知なのでしょう。

難しいことですが、とことん誠実である人生を心掛けたいものです。

仲田 達男



### 10月14日 第一例会(中大ナイ)報告

1. 大野あずさ部長公式訪問日
  2. 中央大学ひつじくも 活動報告  
「夏期ゼミに参加して」 斉藤春樹さん 9月8日～11日 御殿場東山荘  
「AYCに参加して」 渡辺 敦さん 7月19日～23日 タイ チェンマイ、参加者は各国で35名 日本、タイ、台湾、フィリピン、スリランカ、マレーシア、韓国
  3. 西東京センター 中里 敦さんよりの報告  
10月1日よりYMCAのロゴが変わり、看板が新しくなった  
チャリティーラン 9月23日参加結果 48チーム中48位  
11月3日 ペタペタの会 玉川上水ウオーク  
11月23日 YMCA秋祭り 会場 医療福祉専門学校
  4. スマイル 16256円 中大ひつじくもより九州北部豪雨 援助金として寄付
  5. 行事予定
    - ・10月21日(土) あずさ部会 神楽坂 日本出版クラブ会館
    - ・11月2日～5日 中大学園祭(白門際)
    - ・11月11日(土) 11月第一例会
    - ・11月18日(土) 11月第二例会
- 参加者 メンバー： 中里、中塚、長谷川、小口、茂木、望月、並木、久保田、多河、福田、大久保、山本、並木メネ、久保田メネ、辻メネ、中大ひつじくも： 牧野充幸、渡辺敦、坂本菜美、宮内蒼也、斉藤春樹、原部祐基、長吉真穂  
ゲスト： 黒見由美、ピジター：大野貞次、鳥越成代、神谷幸男、本川悦子、神谷雅子、宮内友弥、篠原文恵、坂村哲也、渡辺大輔、麻生由美子、長津徹、菰淵光彦、茅野崋 (敬称略)
1. 11月11日 第一例会 A班担当 卓話あり
  2. 中大白門祭 モノレール駅改札集合 10:30 石巻焼きそばの店出店、2日訪問：花輪、多河、小口 4日：中里他 5日訪問：長谷川、久保田、福田、中塚、茂木
  3. 2月メネット例会 並木雍子さん卓話者推薦担当  
会場：北野市民センター7階
  4. 12月9日(土) クリスマス例会 16:40 集合  
メン 2,500円 ネット・ゲスト 3,500円・学生 1,500円
  5. DBC 5月旅行会候補地  
三島市スカイウオークの茂木下見報告  
バス乗車時間長く年配者に不向き。市内湧水歩行時間が長い。横浜を候補地として今後考える
  6. YMCA 西東京センター行事予定  
11月3日(祝) ペタペタの会玉川上水ウオーク  
11月23日(祝) 西東京センター秋祭り

### 10月28日(土) 10月第二例会報告

- 出席者： 花輪、茂木、中里、久保田、小口  
協議事項：  
(1)11月第一例会、卓話者・加藤祐一氏、A班担当。  
11月25日(土) 横浜 YMCA、出席者：辻メネ、久保田メネ、多河、小口  
12月9日 クリスマス例会(B班班長、久保田さんより)  
第一部 ・並木さんの司会。メッセージ・仲田さん、  
第二部 ・茂木さんの司会。ピアノ演奏、永町さん、ゲーム、中里さん、歌で綴る DBC 旅行、  
会費メン 2500円、メネット・ゲスト 3500円、学 Y1500円  
(6) チャリティーコンサート(久保田実行委員長より)  
出演者の代表、上田亜紀子さんより連絡  
演奏者を(クラリネット・上田亜紀子、ピアノ・山本琢、ドラムス・竹内 武、ギター・並木健司、ベース・田野重松)  
11月23日(祝) 西東京センター秋祭り バザー、仁平勝己氏のギター、ボイストレーニングお茶席、など。谷保の東京YMCA医療福祉専門学校で開催。  
区会員増強委員会よりの「会員増強計画ワークシート」

### 絹の道デイサービスセンター ボランティア\*

- 【報告】10月18日(水) ペーパーフラワー  
参加者： 赤羽、久保田、下重、多河、山中、茂木  
11月1日(水) ペーパーフラワー 2:00～3:00  
参加者： 赤羽、下重、多河、山中、茂木  
【予定】12月13日(水) 14:00～16:00  
ペーパーフラワー

### \*BF2017年10月報告

切手：国内	41g (山本、多河)	累計	873g	
	海外	0.5g (山本)	累計	30.5g
プルタブ	0kg	累計	8.60kg	

### 11月誕生日の会員

中里	孝子さん	11月1日
福田	勝江さん	11月11日
花輪	豊子さん	11月12日
山本	英次さん	11月26日

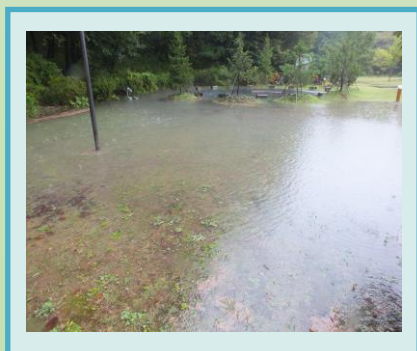
## 高尾の森便り 11月号

所長 古市 健

朝晩はぐっと気温が低くなり、施設内の木々も段々と鮮やかな赤や黄色に色づいてきており、秋の気配が濃くなってきていることを感じます。10月も8月と同様にお天気の良い日が多く、夏の頃のように、毎日子ども達で賑わうようなこともなくなって参りましたが、それでも土日祝日を中心に大勢のお客様で賑わっております。

さて、下半期が穏やかにスタートをし、例年通り学校関係のお客様を中心に多くのお客様にご来館いただきました。しかし、皆さまご記憶に新しいことかと思いますが、10/21～22の土日に非常に大規模な台風が関東地方を通過したことで、当館も対応に追われました。日中から強い雨が降っており、前日まで活発になっていた秋雨前線によってもたらされた長雨の影響も加わり、春に皆さまに草刈をしていただいたテントサイトが、もはや水溜りとは言えない、大きな池のような状況になってしまいました。雨水を受け取る排水口はあるのですが、泥や枯葉などで一部が塞がってしまい、処理能力を超える量の雨が降り続いたことが原因のようでした。夕方には、八王子市より土砂災害警戒区域に住む方々へ避難準備勧告が出たこともあり、私は急遽現地に宿泊して、万が一、近隣住民が避難してきた際の対応に備えました。一夜明け、幸いにしてそういう方は出なかったことと、施設的に大きなトラブルは発生せず、ほっと胸をなでおろしました。極端な気象など、我々では到底コントロールできない場面がありますが、今後とも当館に関わる各社の力を借りて、お客様の安心を守っていこうと気持ちを新たにいたしました。

11月には当館の年の一度のお祭りである「わくわくフェスティバル」が行なわれます。日ごろ当館で様々な練習をしているご利用者様の活動発表の機会でもあります。11/12日曜日、お時間のある方は是非わくわくビレッジまで足をお運び下さい(車でのご来館は、駐車場が一杯で入れない場合があります。公共交通機関でのご来館をお勧めいたします)。



草刈り跡のテントサイトが、台風の影響で大きな池状態

<11月例会卓話者>

加藤 祐一 氏

1956年東京生まれ、日本大学生産工学部卒業後、日産自動車関連メーカーに入社し、開発を担当。35歳でセコムに転職し、同時に東京目黒クラブに入会し50歳で退会。その後、紙を折っただけで紙同士をくっつける技を考案。水を入れても漏れない袋など多数考案し、カトー折りと名付ける。Ecojapancup2009, 2011で2回受賞し、ブログ「カトー折りペーパークラフトで広げるエコ」を始める。セコムのホームページにも掲載され、環境イベントに毎年出展し、学校の授業を2回経験。それらの活動が評価され、東京商工会議所からエコアワード大賞の優秀賞を受賞。ワイズメンJrで、小学生の頃からYMCA活動に参加した。



### 西東京センターの行事予定

【11月】

3日(金・祝)「ペタペタの会」

会員によるプログラムです。鷹の台から小金井公園までを玉川上水ぞいに歩きます。紅葉とおしゃべりを楽しみながら一緒に歩きましょう。詳細はセンターまでお問合わせください。

23日(木・祝)「YMCA秋まつり」13:30～16:00@医療福祉専門学校

ミニバザー、茶道体験、ボイストレーニング、子どもが楽しめるコーナーなどYMCAに関わる皆さんが楽しめるお祭りです。ぜひご越してください。

【12月】

3日(日)「ファミリークリスマス」13:30

～17:00@医療福祉専門学校  
皆さんでクリスマスをお祝いしましょう!